

—編集後記—

先日家族と行った日帰り入浴の湯上がり処で、何気に手にした本に以下の事が書いてあったので紹介します。(原文はうろ覚えですが・・・)

「人に共感を与え行動を促すためには、手に届きそうな目標を提示する事である」

すなわち何かを行うとき目標を立てる事は重要であるが、立てた目標があまり壮大過ぎると何からしたらいいのか解らない上に、現実から離れすぎると目標が達成出来ないと思い、行動が発生しない恐れがあるという事であった。少し工夫をしたり、少し頑張れば現実となりそうな‘見える目標’を立てる事で目標達成が容易くなるそうである。

連日記録的な猛暑がニュースを賑わせているが、東日本大震災後の夏は電気予報なるものが頻繁に報道され目にする機会が多かった。結果、電力使用状況を確認しようと思ってもテレビをつける事をためらったものである。現在の電力供給が格段に改善されているとは思わないが、最近はあまり気を掛けずに電気を使用している自分がある事に気がついた(特段浪費しているわけではないが)。何気に目にしてしている情報(目標)により行動に変化が起きていたのだろう。計画停電にはすっかり参ってしまったが、ちょっとした節電に苦痛を感じることは無かった。皆さんも‘見える目標を試してみてはいかがですか？

(by CORDE)

埼玉放射線 第233号

印刷	平成25年9月2日
発行日	平成25年9月9日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp
発行人	公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 小川 清 編集代表 潮田 陽一
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733
Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘
事務員 植松 敏江
勤務時間 9:00~12:00
13:00~15:00